

資料1 令和2年度 全体的な計画

玉野市立保育園・認定こども園

保育理念		子ども達が現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う						保育方針					
保育目標		*各園によるため空欄						<ul style="list-style-type: none"> 愛情と信頼関係を大切に、一人ひとりの子どもを大切に見守り育てる。 情操、体力、知力の調和のとれた環境のなかで生きる力を育てる。 子どもが主体的に活動できるように援助し、自ら学ぶ力や生きる力を育てる。 					
発達過程区分		0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児	
養護	生命の保持	ねらい 内容	・生理的欲求の充実 ・子どもの発達過程に応じた生活リズムをつくり、生理的欲求を十分に満たす。	生命の保持 ねらい 内容	・生活リズムの形成 ・子どもの生活リズムを重視し、生理的欲求を十分に満たす。	・適度な運動と休息の充足 ・健康状態や発達を的確に把握し、快適に過ごす。	・健康的生活習慣の形成	・運動と休息のバランスと調和 ・適度な運動と休息のバランスをとり、意欲的に生活できるようにする。	・健康、安全への意識の向上 ・保健、安全など生活に必要な習慣を身につける。				
	情緒の安定	ねらい 内容	・受容的、応答的な触れ合い ・情緒的な絆の形成 ・保育者との信頼関係を築き、情緒が安定し、安心して過ごす。	情緒の安定 ねらい 内容	・温かなやりとりによる心の安定 ・子どもの発達過程を把握した上で、さまざまな欲求を満たし、安心して気持ちを表す。	・自我の育ちへの受容と共感 ・安心できる保育者の下で簡単な身の回りのことを自分でする。	・主体性の育成 ・主体的に活動し、自発性や探索意欲を高め、自信をもつことができるようにする。	・自己肯定感の確立と他者の受容 ・自己肯定感を育み共感しながら、継続的な信頼関係を築いていく。	・心身の調和と安定による自信の獲得 ・生活リズム、発達の過程、在園時間などに応じて、活動内容の調和をはかり自信をもって行動する。				
教育	【健やかに伸び伸びと育つ】	ねらい 及び内容	・身体機能が発達する。 ・食事、睡眠等の生活のリズム感覚が芽生える。	【健康】 ねらい 内容	・歩行の確立による行動範囲の拡大 ・自由な活動を通し、身体を動かして遊び、安定感をもって生活する。	・排泄の確立 ・運動、指先の機能の発達 ・保育者の見守りのなか、身の回りのことを自分からする。	・意欲的な活動 ・基本的生活習慣の確立 ・生活に必要な習慣や身の回りのことを自分でする。	・健康への関心 ・身体全体の協応運動 ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度に関心をもち、身につける。	・健康増進とさらなる挑戦への意欲 ・健康や安全に必要な習慣を身につけ、自分でできることに喜びをもつ。				
	【身近な人と気持ちが通じ合う】	ねらい 及び内容	・特定の大人との深い関わりにより、愛着が形成される。 ・喃語の育みと応答的な関わりにより、言葉が芽生える。	【人間関係】 ねらい 内容	・周囲の人への興味や関心の広がり ・保育者や友だちとの安定した関係のなかで行動に興味を示し、ともに過ごす心地良さを感じる。	・自己主張の表出 ・友だちとのかかわりの増大 ・保育者を仲立ちとして、友だちとかわかって遊ぶことの喜びを味わう。	・道徳性の芽生えと並行遊びの充実 ・保育者や友だちとの安定した関係の中なかかわりながら楽しむ。	・仲間との深いつながり ・友だちとのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。	・社会性の確立と自立心の育成 ・保育者や友だちと安定した関係の中で目標に向かって意欲的に生活やあそびを楽しむ。				
	【身近なものとの関わり感性が育つ】	ねらい 及び内容	・身近な環境に親しみ、興味や関心をもつ。 ・身体の諸感覚認識が豊かになり、全身で表現する。	【環境】 ねらい 内容	・好奇心の高まり ・安心できる環境のなかで探索活動を通して感覚の働きを豊かにする。	・身近な自然や事象への関心 ・身近な自然や事象に興味や関心を広げ、探索、模倣をして遊ぶ。	・身近な環境への積極的な関わり ・身近な動植物や自然事象に親しみ、驚いたり感動したりする。	・社会事象への関心の高まり ・身近な環境に興味をもち、自分から関わり、あそびや生活のなかに取り入れる。	・社会、自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ ・さまざまな物事や自然に主体的に関わり、試したり、発見したりしながら工夫して遊ぶ。				
				【言葉】 ねらい 内容	・発語の意欲の形成 ・保育者との応答による心地良さや嬉しさを感じ、自分の思いを身振りや片言で伝え楽しむ。	・言葉のやりとりの楽しさ ・生活に必要な簡単な言葉を聞き分けたり、また、関心事を言葉で伝える。	・言葉の美しさ、楽しさへの気づき ・生活のなかでの、必要な言葉の理解と使用 ・思ったことや感じたことを言葉に表し、保育者や友だちとの言葉のやりとりを楽しむ。	・伝える力、聞く力の獲得 ・自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりして会話を楽しむ。	・文字や数字の獲得による遊びの発展 ・さまざまな機会や場で活発に話したり、聞いたりして、生活のなかで、適切な言葉を使い表現する。				
				【表現】 ねらい 内容	・いろいろな素材の表現の楽しさ ・さまざまな体験を通じて、感じたことを自由に表現しようとする。	・象徴機能の発達とイメージの膨らみ ・興味のあること、経験したことを再現したり真似したりして楽しむ。	・自由な表現と豊かな感性の育ち ・見たり、感じたり、考えたりしたことを身振りや動作で表現し楽しむ。	・豊かな感性による表現 ・感動の共有 ・友だちと一緒に遊びのイメージを共有し、感じたこと、考えたこと、経験したことなどをいろいろな方法で表現する。	・ダイナミックな表現 ・感動の共有 ・友だちと心を通わせ一緒に表現する過程を楽しむとともに、感動する体験などを通して、豊かな感性を育み、それらを表現する意欲を高める。				
		保育をする際の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの発育、発達状態、生育歴の把握 それに応じた保健的、応答的な対応 職員間、嘱託医との連携 保護者との信頼関係構築、相談対応、支援 		<ul style="list-style-type: none"> 身体の状態、機嫌、食欲などの日常の状態の観察及び適切な判断に基づく保健的な対応 事故防止、活動しやすい環境の整備 全身を使う遊びなどさまざまな遊びの取入れ 情緒の安定、子どもの自発的な活動の尊重 			<ul style="list-style-type: none"> 指導を行う際には、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を適宜考慮すること 保護者の就労状況等に応じて、子どもが保育所で過ごす時間が異なることに留意しつつ、子どもの発達や成長の援助をねらいとした活動時間を、意識的に計画上に位置付け実施すること 					
幼児期の 終わりに まで に 育 っ て ほ し い 姿	健康な心と体	低月齢	・立つ、伝い歩き、一人歩きなどの運動を積極的に行うようになる。 ・安心できる環境のなかで、安心して気持ちで過ごすようになる。	高月齢	・活発になり、全身を使ったあそびを楽しむ。	・歩行の確立により身体を動かすことが楽しいと感じるようになる。 ・大まかな一日の生活の流れがわかるようになる。	・自分でトイレに行き、後始末や手洗いをしようとするようになる。 ・基本的な運動機能や手指の機能が発達し、身の回りのことをしようとするようになる。	・生活の流れがわかり、自分でできることは自分でしようとするようになる。 ・生活の流れや生活の仕方がわかり、基本的な生活に必要な習慣を身につけるようになる。	・健康で安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、見通しをもち自ら進んで行動するようになる。				
	自立心	低月齢	・保育者に援助されながら、食事や着脱などの活動を自分でしてみようとするようになる。	高月齢	・身の回りのことを保育者と一緒に行うようになる。 ・自分で試みる経験を繰り返すことにより、できるようになる喜びを感じるようになる。	・保育者との安定的な関わりの中で、簡単な身の回りのことを自分でしようとするようになる。 ・自分からしようとする意欲、あきらめずにやり遂げようとする気持ちが芽生えるようになる。	・みんなから認められることに、喜びを感じるようになる。 ・活動に意欲的に取り組むなかで、楽しさや、やり遂げた喜びを味わうようになる。	・自分なりに考えたり工夫したりしながら諦めずやり遂げ、達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。					
	協同性	低月齢	・周囲の人に興味や関心を示し、関わろうとするようになる。	高月齢	・友だちと一緒に遊ぶことが楽しくなり、思いを主張しながらあそびが持続するようになる。 ・保育者や友だちとの関わりを喜ぶようになる。	・他の子どもに関心をもち、関わろうとするようになる。 ・友だちと一緒に遊ぶことが楽しくなり、思いを主張しながらあそびが持続するようになる。 ・自我が育ち、相手の気持ちに気づくようになる。	・保育者の仲立ちにより、順番がわかたり譲り合うようになる。 ・友だちとの関わりができ、一緒に行動したり、同じあそびを好んでしたり、つもりやごっこあそびをしたりするようになる。 ・自我が育ち、相手の気持ちに気づくようになる。	・保育者の仲立ちのもと、友だちと思いを伝え合って遊ぼうとするようになる。 ・友だちとイメージや目的を共有し、工夫したり協力したりしながら遊ぶようになる。	・自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりしながら、協力して物事をやり遂げる大切さや充実感を味わうようになる。				
	道徳性・規範意識の芽生え	低月齢	・決められた所へ、物を入れたり出したりするようになる。 ・遊びの終わりがわかり、保育者と一緒に片付けようとするようになる。	高月齢	・繰り返しの経験のなかで、決まりがあることに気づき始めるようになる。 ・順番に交代することがわかり、少しの間なら待つことができるようになる。	・保育者の仲立ちにより、順番がわかたり譲り合うようになる。 ・友だちと簡単な約束を守り、一緒に遊ぶことを楽しむようになる。	・友だちとの関わりを徐々に深めながら、簡単なルールのあるあそびを楽しむようになる。 ・思い通りにいかない不安や葛藤を経験するなかで、自分の思いを表現したり相手を意識したりして遊ぶようになる。	・自分の気持ちや態度を調整し、友だちと折り合いをつけながら、きまりの大切さがわかり守るようになる。					
	社会生活との関わり	低月齢	・身近な人や物に興味や関心を示し、見たり触れたりするようになる。	高月齢	・保育者との安定した関係のなかで、新たな人や物への興味を広げようとするようになる。 ・異年齢児の子どもの活動に興味を示し、見たり真似たりして、一緒に遊ぶようになる。	・保育者のお手伝いをすることを喜び、楽しんで行うようになる。 ・身近な人とともに伝統文化などを楽しみながら、地域と親しみを感じるようになる。	・地域の人と親しみをもって関わるようになる。 ・身近な環境に関わり、気づいたり感じたりして遊ぶようになる。	・地域の人と関わる喜びを感じ、感謝の気持ちをもつようになる。 ・自分なりに考えたり、試したりしながら、工夫して遊ぶようになる。	・地域の人に自分から親しみの気持ちをもって接し、自分が役に立つ喜びを感じるようになる。				
	思考力の芽生え	低月齢	・周囲のさまざまな環境に興味を広げ、見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚を働かせようとするようになる。	高月齢	・身近な環境に興味や関心をもち、探索をして遊ぶようになる。 ・つまむ、ひねる、丸めるなど素材を使った遊びを楽しむ、つくった物で見立てあそびをするようになる。	・気づいたことを話したり、友だちの話を聞いたりするようになる。 ・目の前にはない場面や物事を頭の中でイメージして目の前の物で見立てるようになる。	・身近な環境に関わり、気づいたり感じたりして遊ぶようになる。 ・身近な動植物に触れ、不思議さや面白さを感じるようになる。 ・身近な動植物をはじめ、自然現象をよく見たり触れたりして、驚き親しみをもつようになる。	・自分なりに考えたり、試したりしながら、工夫して遊ぶようになる。	・身近な事象に積極的に関わるなかで、物の性質や仕組みを活用し、考えたり工夫したりするようになる。				
	自然との関わり・生命尊重	低月齢	・保育者の声かけや援助により、自然に出会い興味をもち楽しさや変化を感じるようになる。	高月齢	・五感を使って身近な自然と触れ合うようになる。 ・身近な動植物に触れたり、見たりして親しみをもつようになる。	・身近な動植物に触れ、不思議さや面白さを感じるようになる。 ・季節の遊びを通じて、自然の豊かさや自然事象に関心をもつようになる。	・身近な動植物をはじめ、自然現象をよく見たり触れたりして、驚き親しみをもつようになる。 ・身近な自然に親しみ、自然に触れ合うなかでさまざまな事象に関わりながら、考えたり工夫したりして遊ぶようになる。	・自然に触れて感動する体験を通じて、自然の大きさや不思議さを感じ命あるものを大切にすることを覚えるようになる。					
	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	低月齢	・保育者とのやりとりのなかで数、形、色、手触りに少しずつ興味を示すようになる。	高月齢	・食べ物や物の名前、味、形、色などに興味を示すようになる。 ・玩具やいろいろな素材に触れる中で、形、色、大きさ、量などに気づくようになる。	・物の形や色、大きさ、重さに気づくようになる。 ・生活のなかで、身の回りの物の名前や簡単な数、形、色などがわかり、言葉のやりとりを楽しむようになる。	・身の回りの物の色、量、形などに関心をもち、分けたり集めたりするようになる。 ・体験を通して身の回りの物の色、数、量、形に興味や関心をもち、数えたり比べたりするようになる。	・生活のなかで物の性質や数量、図形、文字、時間等に関心や感覚をもつようになる。					
	言葉による伝え合い	低月齢	・喃語、身振り、指差しで自分の思いを伝えようとするようになる。	高月齢	・絵本の読み聞かせや保育者の応答的な関わりによって、片言、一語文、二語文を獲得するようになる。 ・三語文も話せるようになり、言葉で思いを伝えようとするようになる。	・絵本を見たり聞いたりして、言葉の繰り返しを楽しむようになる。 ・見たり感じたことを言葉で伝えたり、友だちや保育者と言葉のやりとりをしたりして楽しむようになる。	・経験したことや感じたことを自分なりの言葉で保育者や友だちに伝えようとするようになる。 ・保育者や友だちとの会話を楽しみながら、自分の思いや経験したことを相手に伝えるように話すようになる。	・人の話を注意深く聞き、理解し、自分の思いも相手にわかるように話すようになる。					
	豊かな感性と表現	低月齢	・生活の中でさまざまな出来事に触れ、心で受け止め、感じたことを全身で表そうとするようになる。	高月齢	・保育者と友だちの真似をして、身体を動かすことを喜ぶようになる。 ・さまざまなものを身体と心の両方で感じる経験を重ね、感覚や感性が育つようになる。	・保育者と友だちの真似をして身体を動かすなかで一体感を味わうことを喜ぶようになる。 ・興味のあることや経験したことなどを、生活やあそびのなかで、再現したり真似たりする楽しさを味わうようになる。	・友だちと一緒にイメージを広げたり、見立てあそびを楽しんで遊ぶようになる。 ・友だちと一緒にイメージを共有するなかで、動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わうようになる。	・友だち同士で互いに表現し合うことで、さまざまな表現の面白さに気づいたり、友だちと一緒に表現する過程を楽しんだりするようになる。					